

# 平成19年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：果樹全般・果樹カメムシ類 No.2

平成19年9月4日  
鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

予察灯におけるカメムシ類の誘殺数が増加している。今後、果樹園に飛来する恐れがあるため、定期的に果樹園などを観察し、飛来が確認される場合は防除を実施する。

## 2 情報の根拠

- (1) 8月下旬現在、予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は平年並～多い(表1、図1)。また、予察灯におけるクサギカメムシの誘殺数は、八頭町及び湯梨浜町でやや多い(表2)。
- (2) 集合フェロモントップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、全調査地点で少ない(表3)。
- (3) 8月31日現在、県予察ほ場(殺虫剤無散布、無袋のゴールド二十世紀)では、カメムシ類の飛来を確認していない。また、他の園の収穫作業中にもカメムシ類は観察されていない。
- (4) 9月3日現在、園芸試験場のサンゴ樹(100果そう、2地点調査)にはチャバネアオカメムシの飛来は観察されていない。

表1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数(頭)

月・旬	八頭町		鳥取市河原町		湯梨浜町		北栄町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月計	0	275.7	9	64.7	0	3.4	0	94.7
6月計	20	259.7	79	90.2	3	7.1	5	54.2
7・上	34	246.0	10	107.5	1	6.4	16	69.4
・中	8	245.6	8	159.8	0	8.1	9	69.4
・下	4	258.9	11	180.9	4	9.6	1	78.9
8・上	13	204.3	20	168.4	6	12.9	41	75.6
・中	84	103.6	79	177.3	12	10.3	<b>513</b>	122.3
・下	<b>266</b>	89.3	<b>162</b>	185.0	<b>74</b>	5.5	<b>602</b>	97.9
9・上		79.1		209		3.4		58.4
・中		93.2		137		2.5		79.8
・下		31.9		95		3.1		27.8

表2 予察灯におけるクサギカメムシの誘殺数(頭)

月・旬	八頭町		鳥取市河原町		湯梨浜町		北栄町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月計	1	20.7	4	34.5	0	0.1	0	0.8
6月計	31	21.9	8	9.2	0	0.2	1	1.0
7・上	10	25.7	2	9.9	0	0.6	1	2.7
・中	3	58.6	0	40.9	0	1.5	0	24.1
・下	22	93.5	16	114.8	0	3.2	0	84.6
8・上	119	146.9	56	195.5	3	5.8	1	92.8
・中	<b>120</b>	85.1	23	276.8	2	2.6	12	52.6
・下	<b>100</b>	46.5	47	147.8	<b>14</b>	0.9	6	18.3
9・上		43.9		39		0.1		12.7
・中		25.2		34		0.2		1.9
・下		8.6		21		0.2		0.0

表3 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数（頭）

月・旬	八頭町				北栄町	
	*		*		本年	平年***
	本年	平年**	本年	平年**		
5月計	84	61.1	14	34.3	52	63.5
6月計	71	95.0	75	184.7	42	48.0
7・上	32	173.3	56	299.2	17	27.3
・中	12	206.5	9	374.0	4	20.5
・下	2	201.0	2	269.4	2	19.0
8・上	2	142.4	0	120.7	4	26.5
・中	1	43.6	0	7.4	0	5.2
・下	0	23.6	0	2.7	0	3.3
9・上		29.1		3.6		7.6
・中		27.3		4.6		7.1
・下		23.8		1.1		5.0

\*... はヒノキ林内、 は と果樹園との中間点の水田畦畔に設置

\*\*...平年値：平成11～18年、平成12～18年の平均値

\*\*\*...平年値：平成15～18年の平均値

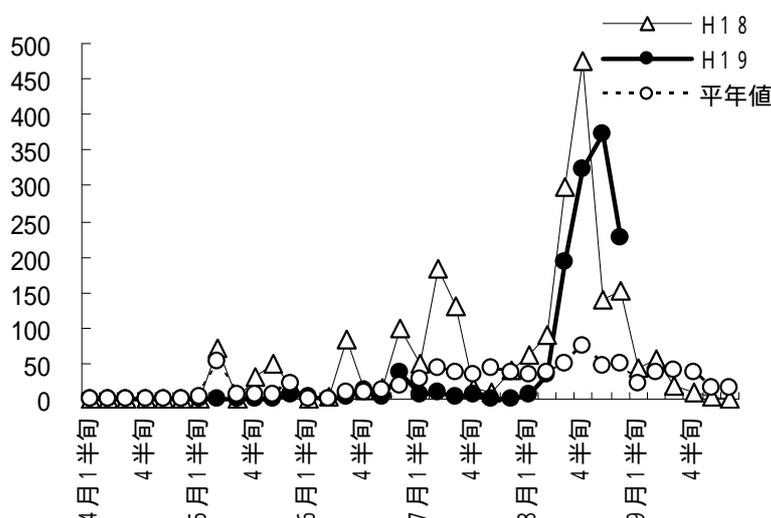


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの半旬別誘殺消長（北栄町）

### 3 防除上注意すべき事項

- (1) 本年は、8月中旬以降が第2世代成虫の発生時期と見込まれる。
- (2) 8月末現在、北栄町では予察灯への誘殺数が多いが、ナシ園及びサンゴ樹の実にカメムシ類の飛来が確認されていないこと、集合フェロモントラップの誘殺数は少ないことから、現況では、山林からの離脱（果樹園への飛来）は少ないものと推察される。ただし、他の地点の予察灯への誘殺数も増加しているため、情報の共有を徹底するなど果樹園への飛来には注意が必要である。
- (3) 今後、山林で餌不足となった場合などは、カキなどを中心に果樹園に飛来する恐れがある。そのため、定期的に果樹園やサンゴ樹などを観察し、早期発見に努める。